

山口情報芸術センター [YCAM] ダンス公演

佐東利穂子「SHE—彼女」 ディレクション：勅使川原三郎 ダンス：佐東利穂子

2011年12月11日(日) 14:00開演 (30分前開場)

※終演後、ポストトークあり 出演：佐東利穂子、勅使川原三郎

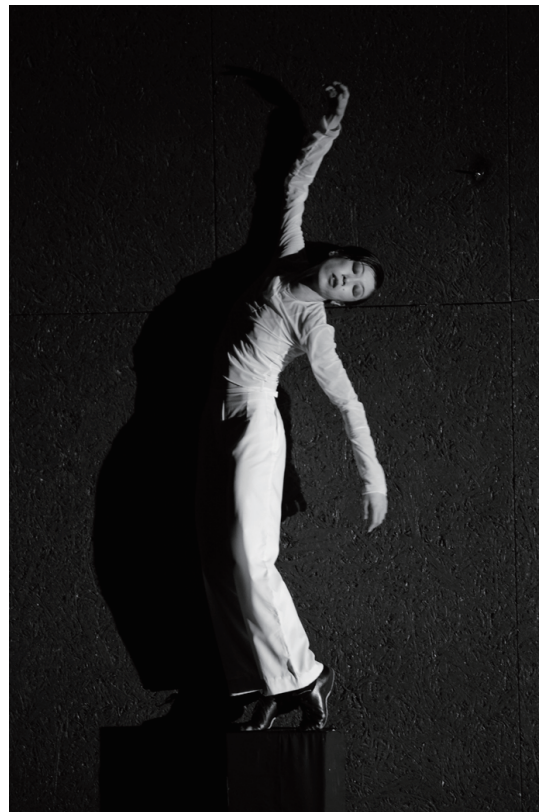
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

洗練された空間と豊かな身体性が見せる、身体表現の新たな次元**佐東利穂子、勅使川原三郎が創り上げる、圧倒的なダンス作品がYCAMに。**

山口情報芸術センター [YCAM] では、身体表現の高い技術と豊かな表現を特徴とするダンサー、佐東利穂子によるソロダンス作品「SHE—彼女」を上演します。

舞踊家／美術家として国際的に活躍する勅使川原三郎によるディレクション作品としても注目される本作は、洗練された舞台空間と研ぎ澄まされた身体表現で、2009年の初演以降、多くの観客を魅了し続けています。類い稀なる佐東の表現力を最大限に発揮する本作には、ダンサーの身体が空間に溶け入るような感覚と〈質感〉を自在に変化させるような豊かな身体性を見ることができます。

YCAMでは、本作の上演にあわせ、佐東利穂子を講師とするダンスワークショップや、勅使川原三郎をゲストに迎えたトークイベント（終演後）を開催します。ダンサーと振付家が追求し続ける圧倒的な世界観が表出する本作を通じ、質の高いダンス作品とその魅力を、幅広い年齢層の方にお届けします。



佐東利穂子「SHE—彼女」 photo: Toshiaki Yamaguchi

チケット情報 [チケット発売開始：10月8日(土)]

料金：[全席自由]

前売 一般：2,500円／any会員・特別割引：2,000円／25歳以下：1,800円

当日：3,000円 ※当日は各種割引対象外

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当：廣田

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp/>

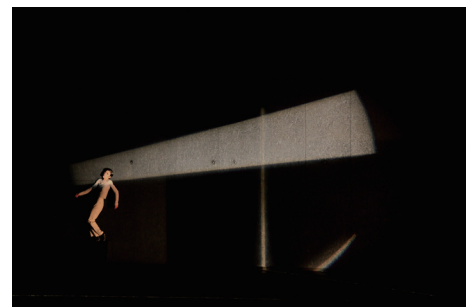
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

身体の〈質感〉を自在に変化させるダンス。速度、エネルギーをもった身体。 自身に向き合い、その表現の可能性を追求し続けるダンサー、佐東利穂子。

YCAMでは、高い技術と豊かな表現により、身体表現の新たな可能性を追求するダンサー／振付家を紹介しています。例年開催しているダンス公演は、国際的な舞台で活躍するダンサーのパフォーマンスを身近に鑑賞し、ダンス表現の美しさや多様性を体感できる貴重な機会として好評を博しています。

2011年度は、繊細な身体に激しいエネルギーを秘めた表現で世界を魅了する、佐東利穂子のソロダンス作品を上演します。

佐東利穂子は、日本のダンスシーンを牽引する振付家／ダンサーの勅使川原三郎率いるダンスカンパニー「KARAS（カラス）」を代表するソリストとして活躍を続け、そこで培った研ぎ澄まされた身体性、空間や照明、音楽、観客に鋭敏に反応する身体感覚で注目を集めています。2006年には仏・伊のダンス雑誌「Ballet 2000」が選ぶ年間最優秀ダンサー賞を受賞するなど、日本のみならず国際的にも高い評価を得ています。今回の上演作品「SHE—彼女」は、勅使川原による照明・音・舞台美術・映像などの演出のもと、佐東のダンスの魅力を最大限に発揮した作品です。2009年の初演以降、国内外で上演を重ね、成熟を続けてきた本作は、総合芸術とも評される勅使川原による空間表現、佐東のダンサーとしての資質、サウンドや照明と拮抗するダンスの表現力が、高いレベルで融合した作品といえます。



佐東利穂子「SHE—彼女」

【上】 photo: Toshiaki Yamaguchi 【下】 photo: Sakae Oguma

「SHE—彼女」ダンス ワークショップ講師／ポストトーク出演

佐東利穂子 | Rihoko Sato ダンサー



photo: Marc Vanappelghem / Rolex

1995年から、勅使川原三郎主宰のダンスカンパニーKARASのワークショップに参加。1996年より勅使川原三郎による振付作品の全グループ作品に出演し、勅使川原作品のソリストとして国際的に活躍する。2005年には、ローマにて初演した作品「Scream and Whisper」で仏・伊のダンス誌「Ballet 2000」の2005年度年間最優秀ダンサー賞受賞。2007年には、作品「消息」で2007年度日本ダンスフォーラム賞受賞。2008年には、横浜トリエンナーレにて、ガラスの破片の敷き詰められたインスタレーションの中で5時間通しのパフォーマンスを敢行。2009年、勅使川原三郎ディレクションによる初のソロ作品「SHE—彼女」を初演（川崎アートセンター）。以降、兵庫県立芸術文化センター、グルノーブル（フランス）にて発表。また、勅使川原の振付・演出助手として、KARAS、パリ・オペラ座バレエ団をはじめとする国際的な舞踊団の作品創作に参加。勅使川原の教育プロジェクトにおいてもワークショップを開催するなど、青少年のダンス教育にも積極的に取り組んでいる。

勅使川原三郎ディレクションによる、初のソロダンス作品「SHE—彼女」 振付家の作品世界を舞台空間に生み出す、佐東利穂子という表現者。

シンプルながらも洗練された舞台空間と身体が一体となり、時に激しく衝突しながら創り出されるダンス作品「SHE—彼女」。エネルギーと速度をもった佐東のダンスは、動きのボリューム、手触りなどの無数の感覚を探り、さらには、空間を構成する照明・音響・映像と呼応し、圧倒的な世界観を表出させます。

「空間の変化に敏感に反応する身体をもつように」と佐東が語るように、空間のすべてを全神経をもって感じとり、その身体は、時に柔らかく、時にしなやかに、時に鋭く変化し、観る者の心を揺さぶります。

佐東が草原で踊る映像と重なるように、舞台上に現れるダンサー、佐東利穂子——。この鮮烈なオープニングから始まる本作は、佐東のたった一つの身体が生み出す鮮やかな展開、卓越したダンス表現が創り上げる世界観そのものといえます。表現者としての佐東自身の新たな身体のあり様までもを開示する作品「SHE—彼女」は、私たちを身体表現の新たな次元へと導きます。



「SHE—佐東利穂子」 photo: Sakae Oguma

「SHE—彼女」ディレクション ポストトーク出演

勅使川原三郎 | Saburo Teshigawara

舞踊家／演出家／美術家



photo: Norifumi Inagaki

クラシック・バレエを学んだ後、1981年より独自の創作活動を開始。既存のダンスの枠組みでは捉えられない新しい表現を追求。類まれな造形感覚を持って舞台美術、照明デザイン、衣装、音楽構成も自ら手掛ける。1985年から、自身の主宰するカンパニーKARASと共に、国内のみならず欧米をはじめ諸外国の主要なフェスティバル、劇場に招聘され多数の公演をおこなう。光・音・空気・身体によって空間を質的に変化させて創造する、独創的な舞台作品はダンス界に留まらず、あらゆるアートシーンに衝撃を与えている。また、日本人振付家としては初めて、パリ・オペラ座バレエ団をはじめとするヨーロッパの一流バレエ団からの委嘱で作品を創作。近年は、オペラの演出を手掛け、高い評価を得る。ダンス教育に関しても独自の理念を持ち、国内外で実践した教育プロジェクトにおいても、多くの作品を創作している。

<http://www.st-karas.com/>

「SHE—彼女」この作品に寄せて —勅使川原三郎

佐東利穂子のダンス

彼女の剥き出しの神経が振動しダンスする
かよわさ（フラジリティ）こそが彼女の最も強烈な力
全身が神経剥き出しの彼女が世界の表面を剥がしあらわにする

身体から突出した極薄の刃が無数の舌を切る
激突する空気との衝動が無数の目玉をつぶす
彼女に触れられる空気又は凹んだ凸っぱり
彼女に震わせられる世界又は落下中の色彩
感じるよりも圧倒的速度で再生する神経系又は音楽
不意に出くわすナメクジに恐怖する彼女の正体又はフカヅメ
最小限が生み出すすき間又は不完全の完結
終わりなき制御又は無為の混乱的了解や快楽
躊躇する身体が見つけた連なり又は呼吸するかぼそき身体
どこまでつづくこの生命線
行き着くところが無い生命線
終わっても終わらない
はじまりが新たなはじまりを生む
切羽詰まった背筋に逆流がはじまる
全神経が疾走する
佐東利穂子のダンス

身体表現について知る。体験する。公演にあわせて、関連イベントを開催。

本公演にあわせ、勅使川原三郎のダンスメソッドを「知る」「体験する」2つの関連イベントを開催します。本公演の3週間前には、青少年へのダンス教育に積極的に取り組む佐東利穂子が、山口初となるワークショップを実施。さらに、公演終了後には、勅使川原三郎をゲストに迎えたポストトークを開催します。振付家とダンサーが作品にかけた想い、その制作プロセスの秘話に迫ります。

関連イベント

佐東利穂子ダンスワークショップ

2011年11月20日(日) 13:30-15:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師：佐東利穂子 ※要申込

対象：小学5年生～高校3年生(経験不問) 定員：15名

参加料：500円

勅使川原三郎のダンスメソッドの基礎を体験するワークショップ。身体の重みを感じたり、身体の力を抜く方法を探したりと、普段私たちが意識することのない自身の身体と向き合い、「自分の身体を知ること」を体験します。新たな表現の習得を目指すダンス経験者はもちろん、ダンス経験の無い方にもご参加いただける青少年に向けたワークショップです。

※動きやすい服装、裸足(靴の着用をご希望の際は室内履きシューズ持参)でご参加ください。

※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は11月初旬頃、電話、FAX、e-mailにてお知らせいたします。

申込受付期間：

9月21日(水) - 10月31日(月) 必着

申込方法：

郵便、e-mailにて、下記項目をご記入の上、お申し込みください。(FAX不可)

1. 名前(ふりがな) 2. 性別 3. 生年月日(保険適用のため)
4. 郵便番号/住所 5. 電話番号、FAX番号等連絡先
6. ワークショップ参加の動機 7. 顔写真(白黒可)
8. ダンス・体操や音楽などの経験歴があればご記入ください。

応募先/お問い合わせ：

山口情報芸術センター 佐東利穂子ワークショップ係
〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222

e-mail: workshop11@ycam.jp

開催概要

山口情報芸術センター [YCAM] ダンス公演

佐東利穂子「SHE—彼女」

ディレクション：勅使川原三郎 ダンス：佐東利穂子

2011年12月11日(日) 14:00開演 (30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

(上演時間約1時間)

※終演後、ポストトークあり 出演：佐東利穂子、勅使川原三郎

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

支援：平成23年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

製作：KARAS

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

チケット情報

※チケット発売開始：10月8日(土)

料金：[全席自由]

前売 一般 2,500円 / any会員・特別割引 2,000円 / 25歳以下 1,800円

当日 3,000円 ※当日は各種割引対象外

電話/窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (YCAM内)

083-920-6111 (10:00～19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット：

<http://www.ycfcp.or.jp/> (24時間受付 ※要事前登録)

セブンコード：013-338

■特別割引：シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：12月4日(日)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム：事前にお問い合わせください。